

## スポーツ支援部

部長 多田善則

香川県理学療法士会スポーツ支援部部長の多田善則と申します。スポーツ支援部では、野球・サッカー・バスケットボール・障がい者スポーツに対して、各団体と協力してサポート活動を行っております。また、スポーツ現場に役立つ知識と技術の講習会やスポーツ理学療法研修会と題して毎年講習会も予定しております。

サポート活動としては、各スポーツ団体からの依頼に対して、テーピングなどによる障害予防・救急処置・ストレッチなどのコンディショニングを行っています。また、今年度の講習会は、密を避けるためZOOMを利用したオンラインでの講習会を行っています。

今、世界中が新型コロナウイルスCOVID-19の猛威に振り回されています。各スポーツ団体も大会を中止せざる負えない状況が続き、多くの方が悔しい思いをしています。そんな中、各団体が感染対策などの運営方法を試行錯誤し、何とか大会を開催しようと奮起しています。スポーツ支援部もそれに応えられるようサポート活動を再開しています。

香川県内でスポーツを盛り上げるためにも、スポーツ活動に対して理学療法士がサポートできればと思います。しかし、サポート活動の際には毎年人手不足が問題となっています。スポーツ支援部の部員だけでなく、多くの県内理学療法士の先生方のご協力によって、サポート活動が成り立っています。「何かスポーツの現場で仕事がしてみたい！」という思いを持って理学療法士を目指した先生も少なくないと思います。スポーツ支援部では、そのような先生方を歓迎いたします。私自身、スポーツ支援部に入り、理学療法士の「仲間」が増えたことがとても大きな財産になっています。ぜひ一緒に香川県のスポーツを盛り上げましょう。



バスケットボールサポート風景



高校野球サポート風景

## 香川県訪問リハビリ研修実行委員会

委員長 岩井伸幸

### 香川県訪問リハビリ症例検討会の開催(ハイブリット方式)

香川県訪問リハビリ研修実行委員会では、今年度、症例検討会を穴吹リハビリテーションカレッジ、ZOOMのハイブリット方式にて、令和2年11月20日に執り行わせて頂きました。

症例検討の内容として、「畑仕事の再開に向けて」高松協同病院PT篠原知花先生、「家族、多職種連携により在宅で安全に経口摂取が継続できた一症例」リハビリ訪問看護きらっとテラスST梅田郷史先生、「Lung Volume Recruitment Trainingを導入し明らかになった問題点」高松医療センターPT乃村道大先生、より御発表頂きました。

HOTを利用した患者さんに対する身体機能も含めた活動、参加へのアプローチ。在宅における多職種連携によるVE実施と義歯作成。それから、今までになかったALSの患者さんに対して、在宅リハビリに求められる知識などを拝聴することができました。年々、医療依存度の高い在宅利用者さんが増えてきているのを感じることができたのではないかと思います。

ALS患者さんに対する在宅に求められる内容に関しては、今年度の実務者研修会(ハイブリット方式)の中でもご講演頂く事となっており、1月開催予定です。現在、在宅リハビリに従事している方、また新たな知識として興味のある方など、たくさんのご参加いただけたら幸いです。

今回の参加者30名でした。ハイブリット方式という事もあり、普段、参加できない遠方の方や、小さいお子さんのいらっしゃる方の

参加が、通年より多かった印象でした。

コロナ渦という事もありますが、その一方でwebでの研修会を執り行わせて頂いたことで、今まで以上に裾野を広げた会の開催ができたのではないかと思います。次年度も含めて、今後もこのように、webを含めた委員会の開催を行えたらと思います。

今後とも何卒よろしくお願いいたします。



症例検討会ハイブリッド形式の風景（令和2年11月20日）

## 協会指定リーダー研修推進委員会

委員長 梶原亘弘

### 「協会指定リーダー研修推進委員会の紹介」

私が理学療法士となった平成初期と比べ、医療や介護、行政等、私達が働く場所や地域からのニーズは多様化し、個々により専門的な知識や技術が必要な時代へと変化しました。一方で会員数の増加や新卒での1人職場への就職も増えており、組織としてまとまっていく事が難しくなっています。

こうした中、日本理学療法士協会は、管理者の連携促進・組織強化を目的に「協会指定管理者」の制度を創設、香川県士会でも「協会指定リーダー研修推進委員会」が令和元年度より特設委員会の1つとして活動を開始しました。

活動内容は、「協会指定管理者(初級)」取得の為の講習会開催、管理者ネットワーク構築や情報交換、管理者スキルアップを目的とした職域別リーダー研修会開催等があります。

職域別リーダー研修会は「香川県理学療法士ネットワーク～日常業務座談会～」として昨年度は第1回目が開催されました。急性期・回復期・生活期・地域包括ケアに教育関係を加え多くの職域の方々にご参加頂き又、日本理学療法士協会から森本副会長を講師にお招きし、管理者ネットワークの必要性について講演(写真①)を頂きました。

職域が異なると、他職域の現場で抱える問題については理解が難しくなってしまいます。座談会では職域別のグループでワークショップ(写真②)を行い日常業務の疑問点や悩み、それぞれの職場での運営方法等をざっくばらんに話し合い、又、全体の意見交換を通じて相互理解を深める取り組みを行いました。今年度は新型コロナの影響の為、中止となってしまいましたが、リモートでは相談し難い事や他病院、他施設等の問題解決方法等、非常に参考になる内容が話し合えますので、次回開催時(対面でできるのはいつの日

か?)皆様のご参加をお待ちしております。多くの会員の方々が、地域社会に向けて協働できる体制作りをサポートしていきたいと思えますので、今後とも宜しくお願い致します。



① 講演



② ワークショップ

## 厚生部

部長 柳原弘規

厚生部の役割と仕事内容について紹介させていただきます。

厚生部の役割としては、香川県理学療法士会の細則と規程の中にあります通り、

1)理学療法士の福利厚生に関する事項

2)理学療法士の親睦に関する事項

の、主に2つの活動を中心に行っています。

1つめは香川県理学療法士会会員に慶事、弔事があった場合の窓口として対応しています。

内容としましては、

(1) 会員が結婚したとき

(2) 会員が死亡したとき

(3) 会員が一ヶ月以上入院した場合

会員またはその関係者は上記事項が発生した場合、その事実を90日以内に厚生部宛に届け出てもらうことになっています。もし、周りの会員の方で先輩や後輩で報告を忘れていた方がいましたら促してもらえるとありがたいです。

2つめは、新人説明会後に香川県士会に入会された新人同士の親睦会を開催しています。いつも新人説明会に参加された方の約8割の方(最近では約50人程)が参加してくれています。新人の参加に加え、会長をはじめとする理事役員の方々にも参加していただいています。会場内では、懐かしい顔ぶれや初対面の方々と食事

を囲んで歓談しながらも、会長から理学療法士の現状や今後の展望等を鼓舞激励していただき、この分野で自分をいかに活かしているかということの重要性を確認し合う場となっています。

昨今のコロナ禍の影響で、新人説明会や親睦会は開催できていない状況となっています。そのため、新人同士や県士会との繋がりも取りにくい状況になっていると思います。今後、香川県士会会員の福利厚生事業として県士会に入会していることへの利点に繋がるようなもので何か還元できればと検討していきます。

## こどもサポート委員会

事務局長 永岡誠司

こどもサポート委員会は2019年度より香川県理学療法士会、香川県作業療法士会、香川県言語聴覚士会の3団体合同で立ち上げた組織です。これまで当士会では小児に関する部局がなく、全く手つかずの領域となっておりました。また、県内の小児サポートの現状についても、放課後デイサービス等が急増するなか、PT・OT・ST(以下リハ職)が参入する例が少なく、リハ対応については「かがわ総合リハビリテーションセンター」や普通寺の「こどもとおとなの医療センター」、他の数か所の民間病院のみとなっています。

地域からの意見についても、四国医療専門学校教員の穴吹氏による、県内において「特別支援学級に通学されている子供さんの保護者」に対するアンケートによると、保護者の方々からも「どこか専門的にリハビリができる場所はないか?」、「もっと回数を増やしてリハビリをできないか?」というお声が多数あがっているのが現状です。また、全国の小学校、中学校、高校に設置されている特別支援学級についても、リハ職の関与が非常に少ない状況であり、これについては日本理学療法士協会の方からも特別支援学級における現状と課題を周知するべく、令和2年2月に東京にて研修会が開催されており、本格的に対応していくことが検討されました。

当委員会としては2019年度には、啓蒙活動の一環ということも加味し、専門家(医師、視能訓練士、リハ職、相談支援専門員)の方々を招いた研修会を4回開催し、250名を超える、リハ職や他職種の方々にご参加頂きました。しかし2020年になり、コロナ禍のため啓蒙活動が難しくなっているため、これを機にまずは県内の小児サポート関連の現状を把握し分析を行う方向で調整しております。次年度には会員の皆様に県内の情報をまとめてご報告できればと考えております。

これまでリハ職は医療分野を中心に活動発展し、2000年度の介護保険設立後は介護分野においても徐々に参入するようになってきました。しかし、未だ「障がい福祉分野」については、特に理学療法士はほぼ未参入であり、知識不足、経験不足、情報不足といった状況です。今後はこの不足部分を補っていけるような体制作りも急務ですので、情報収集の際にはご協力のほど宜しくお願い致します。

## 保険部

部長 津川義弘

保険部はリハビリテーションに関する地域課題を解決することを目的に活動を行なっています。県内それぞれの課題を部員が所属する施設周辺の課題に適合するまで細分化した上で活動を展開しているため、地域によって活動内容が大きく異なるのが特徴です。例えば、介護支援専門員との同行訪問を実施する事業もあれば、介護支援専門員のスキルアップを目的とした研修会を企画運営する事業、要介護認定調査員のスキルアップを目的とした実技研修を企画運営する事業、介護分野を中心とした多職種連携事業などがあげられます。これらは、部員が行政や地域と顔の見える繋がりを築いているからこそできる事業だと考えています。

一方、多職種を対象とした事業が多いため会員の皆様が保険部の活動内容を把握しにくいという課題も抱えています。そこで、3年前より県学会でランチョンセミナーを開催し保険部の活動報告をさせていただく機会を設けました。今年度はオンラインでの開催のため保険部セミナーという形で活動内容を報告させていただきます。地域に関心のある方はぜひ参加ください。

最後になりますが、リハビリテーションに関する地域課題をどのように解決していけばいいかわからない場合は、保険部まで一度ご相談ください。

## 理事会報告

### 第7回理事会

日時:令和2年11月19日(木)19:00~21:15

場所:WEB会議(ZOOM)

出席者:理事)高橋、藤井、山田、清川、田岡、十川、梶原、横川、永岡、中島、森田、矢野、宮崎、今井  
監事)川本、澤近

### 審議事項

- 各種事業の開催指針のステージに関して(山田)  
三密およびマスク・消毒の徹底を行い、ステージ2を維持する。
- 2021年度の第27回県学会等日程について(宮崎)  
第27回県学会の年度内開催は中止とし、2022年4月の開催で準備を進める。第28回県学会は通常時期に開催予定(年2回開催)。総会にて会員に確認。
- 県学会の持ち回り開催に関しての再検討(高橋)  
第21回から持ち回り開催にしているが、少数の東讃のスタッフの負担が大きい。→現在2巡途中なので、2巡が終わるまで今のまま継続し、さらに検討する。
- 士会費の取り扱いについて(高橋)  
協会費が減額されるので、県士会費は変更なしとする。
- 令和3年憲法記念日知事表彰潜在候補者について(梶原)

対象なし

6. 講師料の源泉徴収処理について(横川)

講師料の源泉徴収は少額でも今まで通り源泉徴収をする。

7. 今後の会議等スケジュールについて(清川)

第3木曜日に定期理事会を組み、5月総会までのスケジュールを作成 → 承認

8. その他

1)入会申請(清川)

2名の入会申請 → 承認

報告事項

1. 各部・委員会・ブロック報告(各担当者)

研修部:穴吹リハで研修会を開催し無事終了。

健康増進推進部:健康教室向けのDVD作成。内容を理事に閲覧し承認をいただく。

表彰委員会:2020年の表彰式は中止。

地域包括ケア:プライマリなど学会の準備等に手当てを検討する。

災害対策委員会:次回JIMTEFは不参加とする

2. ZOOMの法人契約の進捗状況について(清川)

契約はほぼ終了。利用料支払いのための法人カードを作成中。

3. 会員に関する統計資料(清川)

別紙参照 → HPに掲載する

県内の疾患別リハ別実施施設の把握は四国厚生支局HPに施設基準届出受理医療機関名簿があり、情報収集が可能である。

4. 障害福祉サービスの有識者の推薦について(十川)

成人は館野先生(成人支援施設)、小児は成田先生(わかな)を推薦する。

2. 四国PT学会評議委員会WEB開催(ZOOM)

11月25日(水)または26日(木)19:00~

高橋、森田、久保、矢野が参加予定。

完全リモート、対面、ハイブリッド形式のそれぞれの案を提出予定。コロナの状況により臨機応変に対応していく。

3. 学術誌、電子ジャーナルの利用状況(宮崎)

別紙参照

4. 令和2年度香川県介護予防市町支援委員会(高橋)

開催延期となった。

5. 理学療法の日 全国一斉イベントについて(協力依頼)(高橋)

別紙参照

6. 認定調査員研修の依頼について(高橋)

臨時事業として保険部が対応する。

7. その他

1)「Go To 商店街」のイベント開催協力について(永岡)

辞退。

2)スポーツ支援部の研修会で、士会のZOOMを使用したい。

承認。

連絡事項

1. 学会・研修会等の開催形式変更に伴う履修単位・履修ポイント付与の登録について(当該期間延長のお知らせ)(高橋)

別紙資料参照

2. 「循環器病対策基本計画」をご活用について(高橋)

別紙資料参照

3. 職場内教育モデルの動画配信を開始【無料公開】(高橋)

<http://ek21-cl.asp.cuenote.jp/c/fH5qabrWljuV13bE>

4. 第103回香川県CHEST研究会(宮崎)

別紙資料参照

第8回理事会

日時:令和2年12月17日(木)19:00~20:45

場所:WEB会議(ZOOM)

出席者:理事)高橋、藤井、山田、清川、田岡、十川、梶原、横川、中島、矢野、森田、宮崎、今井

監事)川本、澤近

審議事項

1. 各種事業の開催指針のステージに関して(山田)

リモートを基本として対面は開催マニュアルを遵守することで現状の対応は可能と考える。→ ステージ2の維持で承認

2. 12月11日 理学療法の未来を語る会Webセミナー案内(高橋)

高橋会長参加の報告 → 承認

3. 協会賞の推薦について(梶原)

田中聡先生(広島県士会)の推薦で承認。現在会の広島県士会は了済みとのこと。梶原理事より推薦状を提出する。

4. ZOOMのホストの割り振りについて(清川)

10個のライセンスを取得。理事会・スポーツ支援部・災害対策委員会・保険部・学会部・研修部に割り当てる。他必要な場合は、総務部に一時的利用の申請を行うこととなる。→ 承認

5. 学会部からの審議依頼について(宮崎)

1)第27回県学会における新人の参加費について

第27回県学会は4月開催となるため、新人入会承認ができていない。学会部が準備する所属長の在職者証明を取り、無料での参加とする。→ 承認

2)学会抄録集のPDF化について

第27回県学会以後はPDF配布としていく。→ 承認

運営費用について、外部業者導入の検討も進める。

3)県学会表彰について

奨励賞:一般演題上限2題、新人賞:新人演題上限1題とする。

6. 保険部からの審議依頼について(中島)

1)口座管理について。

各事業の中で、保健部口座に入金利用する場合と、財務部に入金される場合があり、財務部に一括したい。→ 承認

2)多職種連携勉強会について

他職種という勉強会でもあり、士会員以外への案内をかけたいとの提案。→ 承認

#### 7. パブリックコメントの公募(第8期高齢者保健福祉計画)(中島)

広く会員から意見を出してもらうため、事務局から連絡網メールを配信する。保険部で意見集約して団体として意見を出す。

#### 8. その他

##### 1) 香川県地域包括ケアシステム学会に関して(藤井)

学会活動の報告。士会員発表者に当委員会より謝金を支払うことへの協議依頼。→ 承認

##### 2) 第3回全国都道府県士会学校保健・特別支援教育担当者会議について

参加会員の推薦として、かがわ総合リハセンター十川氏と県立高松養護学校谷川氏が推薦された。→ 承認

##### 3) スポーツ理学療法運営担当者会議出席依頼について

スポーツ理学療法運営担当者は多田部長、士会推薦者の選出は多田部長に一任された。→ 承認

#### 報告事項

##### 1. 各部・委員会・ブロック報告(各担当者)

協会指定リーダー研修推進委員会: 県内ネットワークの構築目的もあるため初級講習会受講は県士会員のみとする。

研修部: 吸引講習会の実施報告

地域包括ケアシステム推進委員会: 地域包括ケアシステム学術大会が1月17日に開催予定。

##### 2. ZOOMの法人契約の進捗状況について(清川)

協議事項4参照

##### 3. 平井大臣への陳情打ち合わせ(高橋)

別紙出張報告書参照。

##### 4. 学会評議委員会(11月26日WEB開催)(高橋)

高橋、森田、久保、矢野が参加。対面とリモートのハイブリッド開催よりも、完全リモート開催で実施する。四国四県の広域開催でもあり運営業者の導入の方向で進めることとなった。

##### 5. 連絡協議会(12月4日WEB開催)(高橋)

高橋、藤井、山田、矢野が参加。抄録集はPDF、学会誌は紙面での作成(国会図書館への登録の関係もあり)。

##### 6. 香川県医療推進協議会役員会

コロナ感染予防として中止となった。

##### 7. 理学療法の日全国一斉イベントについて(高橋)

2021年7月11日開催計画が協会より追加資料として届く。

##### 8. 認定調査員研修の次年度の依頼について(高橋)

12月10日に新氏、西紋氏の来訪あり。今年度の研修事業(保険部実施)への御礼と次年度の協力依頼あり → 継続事業とする。

#### 9. その他

#### 連絡事項

##### 1. 【情報共有】日本医師連盟「全世代型社会保障検討会議」における議論への地元自民党国会議員への働きかけについて

##### 2. 香川県介護予防市町支援委員会(12月24日WEBEX)

高橋会長出席予定

##### 3. 【日本PT協会】研修会開催ステージの変更について

新型コロナ対策本部では、本会主催研修会開催ステージを「ステージ4」から「ステージ3」へ変更。

[http://www.japanpt.or.jp/info/20201201\\_02.html](http://www.japanpt.or.jp/info/20201201_02.html)

##### 4. 【日本PT協会】事務局機能課:[JPTA会員限定コンテンツ]職場内教育モデルの動画 追加配信のお知らせ

[http://www.japanpt.or.jp/info/20201028\\_01.html](http://www.japanpt.or.jp/info/20201028_01.html)

##### 5. 【日本PT協会】2021年度重点事業(案)

別紙参照

## 厚生部からのお知らせ

厚生部部長 柳原弘規

慶弔費の申請手続きは厚生部が行います。以下の事項が発生した場合は、90日以内にご連絡ください。その際、送金は銀行振込になりますので、口座番号を柳原までお知らせください。

- 1) 会員が結婚した場合
- 2) 会員が死亡した場合
- 3) 会員が一ヶ月以上入院した場合

おさか脳神経外科病院 柳原まで

TEL 087-886-3300

## 広報部よりお知らせ

部長 田仲勝一

広報部では令和3年8月号より県士会ニュースを刷新する予定にしております。また、現在は県士会メーリングリストでの配信および発送を行っておりますが、時代の流れに沿い、紙ベースからデジタルベースへ移行したいと考えております。

香川電子書籍、「KAGAWA eBOOKS」への掲載を予定しております。また皆様に興味を持って読んでいただけるようなシリーズ物も検討していきたいと思っております。

今後とも県士会ニュースをよろしくお願い申し上げます。

## 賛助会員広告

義手・コルセット・補助装具・整形外科医器  
補聴器・車椅子・点字器・杖

# 高松義肢製作所

社団法人 日本義肢協会会員  
代表取締役 東原隆雄

〒761-8058 高松市勅使町 514-3

TEL:087-802-9618

## 編集後記

今回も6名の先生方に各部、委員会の紹介をして頂きました。  
年末の忙しい時にご協力頂き誠にありがとうございました。

新型コロナウイルスが蔓延期となり、高齢者を対象することが多い我々理学療法士は日常生活にもものすごく気を遣う日々が続いているかと思えます。そのために、休みの日でも余分な外出はせずに自宅で過ごしていることが多いのではないのでしょうか。

でも、「ちょっとまったあ！！」

もしかしたら、我々理学療法士もコロナ禍で運動不足に陥っているのではないのでしょうか。

心当たりのある方は、心身のリフレッシュのためにもまず自ら体を動かしましょう。

(田仲勝一)